

綱 領
1. 吾々の守るべきは、労働者の権利を尊重し、労働生活の向上を期す。
2. 吾々の求めるものは、労働者の生活の改善、労働条件の向上、労働者の権利の伸張である。
3. 吾々の果たすべき使命は、労働者の生活の向上、労働者の権利の伸張、労働者の生活の改善である。

日赤新勞

昭和61年
1月1日
発行
第110号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新勞)
東京都港区浜松町2-2-14
K1ビル802
TEL (03) 433-3028
発行責任者
掛井 巖

第二回中央委員会を開催

賃闘経過など諸報告を承認

昭和61年度運動方針案などを討議

十二月十五日、十六日の二日間、吉備文化の発祥の地として古くから栄え、府府の天領時代のたすいまいを誇り、古い家並みの街倉敷市の郊外、「山陽ハイッ」において、中央委員、本部役員及び、オブザーバー等、多数参加して本年度第三回中央委員会が盛大に開催された。第二十五回定期大会を控え、昭和六十一年度運動方針案をはじめとした重要議題を中心に、各ブロック会議での審議の結果を全体で討議し、熱のこもった審議が行われた。

十二月十五日、十六日の二日間、吉備文化の発祥の地として古くから栄え、府府の天領時代のたすいまいを誇り、古い家並みの街倉敷市の郊外、「山陽ハイッ」において、中央委員、本部役員及び、オブザーバー等、多数参加して本年度第三回中央委員会が盛大に開催された。第二十五回定期大会を控え、昭和六十一年度運動方針案をはじめとした重要議題を中心に、各ブロック会議での審議の結果を全体で討議し、熱のこもった審議が行われた。



謹賀新年

日赤新勞執行部一同

昭和60年12月15日～16日

☆議題

- 一、昭和六十一年度運動方針(案)について
A 国外情勢
B 国内情勢
C 日赤の現状
D 一九八六年賃金交渉の基
E 労働条件改善へのとりくみ
F 組織の強化拡大
G 婦人部労働対策
H 賃金交渉の基本方針について
I 労働条件改善の現状
J スローガン

男女雇用機会均等法も学習

全国婦人部代表者会議ひろく

昭和六十一年十一月十日から十二日にかけて、昭和六十一年度全国婦人部代表者が、日本赤十字社本社会議室(宿泊は東京農林中央会館)において、各単組婦人部代表者、オブザーバー、本部役員出席のもとに盛大に開催された。

☆審議事項

一、昭和六十一年度運動方針案について
本部原案どおり了承され、活動項目について、本年度と同じく、一回の全国婦人部代表者会議とし、各単組代表者は単組の現状等を、十分把握した上で出席することとした。



第3回中央委員会で挨拶を行う川出委員長

事務局長の整備に伴う人件費の確保のために組合費値上げ(一〇〇円)について本部より提案説明があり、長時間にわたる審議の結果、値上げもやむを得ずとの結論に達し、賛成多数で承認された。

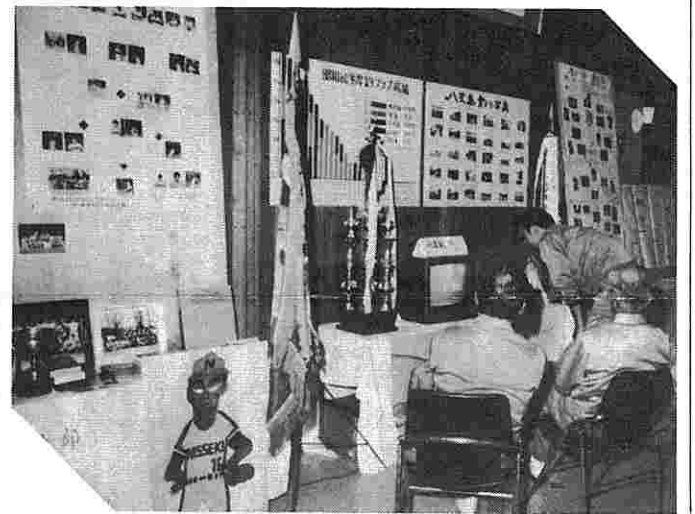


盛大に文化祭を

名一日赤徒組

我が単組には、文化・運動系を含まないもののクラブがあります。文化クラブには、美術・写真・書道・園芸・俳句・茶華道・手芸クラブが、運動クラブには、野球・釣・バレーボール・テニス・卓球クラブがあります。それぞれのクラブが業務終了後、あるいは休日を使って、お互いの趣味の向上に努めています。

毎年十一月ともなると、一年の総決算としてその成果を発表しています。これがすなわち我が単組の文化祭であります。文芸系クラブにおいては、作品発表が運動系クラブにおいては成績発表がされます。本年は十一月五日から八日まで四日間をかけて実施されました。それではほんの一部ですが紹介させていただきます。



みごとな展示品の飾られた文化祭

第25回定期大会会場

政府登録 国際観光旅館・湖畔のホテル

湖舞

1月のごよみ

厚生部一同よろこんでいます。これからも皆様に喜んで頂ける厚生部に成長したいと思っております。

〇：睦月(むつき)。一日年賀、初詣。二月初荷、書初め。新しい年が始まります。家庭で、旅行先で一年の計を家族で語り合う三日月にしたいものです。四日御用始めは官公庁の事務始めのこをいい、民間では仕事始めといえます。この日はたいてい、年頭の挨拶を酒をくみかわすことで終わります。大工は鉦(かんな)だけを研ぎ、農家は藁(わら)一把だけ打って、それを初仕事といっているのびり過ぎならわしもありません。七種の菜スープを作るならわしがあり、これが日本に伝わって七草粥の行事に定着したといわれています。「畑のもの」足して七草 揃へけり(田中紫江)。

新潟バスツアー

原田日赤職組

合員の、あるいは家族を通して触れあう組合員の相互の親睦を計り、楽しい充実した一日を過ごすことが出来たことと思えます。

今年も例年通り日帰りバスツアーを、新しく出来た関越自動車道を使って十一月十日に寺泊へ行くことになりました。我々の考えをゆきたいと思っております。

(厚生部・浜田)

一年に一度、厚生部の行事をしつかり雨に降られ、朝九時に病院を出発。途中高速度道路、特に三國トンネル付近が混雑するとのことで早目に出ました。今回のメンバーは勤務に支障ない看護婦がほとんどを占め、全員で四十一人にきやかに原町を後にしました。

道路は心配するほどでなく、予定通りで、バスから見える景色は天候を忘れさせてくれました。

今回は時間におさまられてゆつくり出来なかつたが、また来年もバスツアーを企画して予定します。

今年は今までに内容の濃い企画を、組合員みなさんのおかげで実行できてよかつたことなる早川です。九月まで名古屋に務めておりました。川出中央執行委員長よりお話しがあり、お世話になることになりました。

日赤新労のことは何もわかりません。これからは皆様の指導をいただきながら、精一杯とめさせていただきます。よろしくお願いたします。(早川肇子)

北から南から



りんご狩楽しむ

鳥取日赤職組

わかとり国体で賑う十月二十七日、バスで一時間ばかりの兵庫県境にある扇ノ山で、フィールドアスレチックを兼ねて、りんご狩りを行いました。

早朝九時出発で、半数以上子どもが参加していたものの、貸し切りバス一台に補助席を使って満席になる程の賑いで、各々の手作り弁当を持参しての参加者ばかりの賑わいがありました。

企画の後の全員の感想文に「ただ何となく組合に入りたい」という声が多くなり、組合について関心がなかつたが、組合の意義や歴史について、再認識いたしました。

我が鳥取日赤単組で初心者研修会を催すことは、初の試みでしたが、多数の初心者参加をうけてもらえたのは、とても嬉しく思います。

「くみあい新聞」発行と合わせ、組合員への教育活動の一環として今後ともより充実させ、組合の団結強化の輪を上げたいと思っております。

日頃の職場では得られない組合員との交流が、心ほぐれ、心癒される。そんな瞬間が、この研修会を通じて実現された。組合員同士の絆が、新たなエネルギーを生み出した。

初心者研修会を

単組で主催して

鳥取日赤教宣部

本部主催の初心者研修会は、日程の都合上組合員の参加が難しかった。そのため、鳥取日赤では初の試みとして、単組独自の初心者研修会を教宣部主催のもとに本部役員を交えて開催しました。

晩秋の木枯しがふき始める十一月三十日(土曜日)から十二月一日(日曜日)の二日間、日本一広い池で知られる湖山池のほとり、静かな湖面にわかさぎ漁の船も見え、遙(はるか)かなたの山々の紅葉に囲まれた「大瀬荘」に集いました。

三十日は卓球大会に心地よい汗を流した後、懇親会にうつり、自己紹介、会食等で親睦を深め合い、夜の更けるのも忘れ

て、松本晃本部副執行委員長の労働協約、労働組合について等の熱のこもった話を聞きまし

組合について様々の知識を得る大変意義深い半日があつた。

組合員同士の交流が、心ほぐれ、心癒される。そんな瞬間が、この研修会を通じて実現された。組合員同士の絆が、新たなエネルギーを生み出した。

日頃の職場では得られない組合員との交流が、心ほぐれ、心癒される。そんな瞬間が、この研修会を通じて実現された。組合員同士の絆が、新たなエネルギーを生み出した。



もぎたてのりんごはおいしいな



くみあひ

今度、事務局にお世話に

今年、事務局にお世話に

くみあひ

今度、事務局にお世話に

